

# 令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 河川環境課  
 担当名: ダム管理担当  
 内線: 5116

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B34	社会資本整備総合交付金(河川)事業費(水辺)			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	社会資本整備総合交付金(河川)事業費		
事業期間	平成22年度～	根拠法令	河川法第9条、第17条、第60条、第66条			宣言項目		SDGsゴール	11, 13, 15	
	分野施策					020518 治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	11-b, 13-1, 15-1		
1 事業の概要				5 事業説明						
<p>水環境の悪化している河川を対象に、底泥のしゅんせつによる河川の水質改善を行うことで、良好な河川環境を構築する。また、遊歩道として利用できる河川管理用通路の整備を行うことで、河川とまちが融合した良好な空間を形成することを目指す。</p> <p>ダム管理施設を適宜、適切に維持管理・更新していくために、計画的に整備を実施する。</p> <p>国庫支出金の内定に伴う所要の補正</p> <p>(1) 堰堤改良事業      △41,414千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 堰堤改良事業 ダム管理設備を適宜、適切に維持管理・更新していくために計画的に整備を実施する。</p> <p>国庫支出金の内定に伴う所要の補正      △41,414千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 長寿命化計画に基づきダムの堰堤改良事業を実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 貯砂堰堤を築造することにより、土砂をダム湖内へ流入する前に捕捉でき、堆積した土砂を容易に掘削して搬出することができるため、効率的・効果的な堆砂対策が図られる。</p>						
2 事業主体及び負担区分										
<p>(1) 河川環境整備事業[ (国1/3・県2/3) ]</p> <p>(2) 堰堤改良事業 [有間ダム(国26.6%・県39.8%・企業局14.4%・飯能市19.2%)]</p>										
3 地方財政措置の状況										
<p>河川事業債(一般公共事業債)</p> <p>充当率 90%(通常分90% 財対分0%)</p>										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
<p>(1) 事業に係る人件費 9,500千円×2.5人=23,750千円</p> <p>(2) 組織の新設、改廃及び増員 なし</p>										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入	県債						
決定額	△41,414	△11,000	△13,916	△17,000				502	704,718	
現計額	746,132	222,000	108,769	414,000				1,363		